

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 7月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100850		
法人名	有限会社サカコーポレーション		
事業所名	グループホーム ガーデンの家 落合南		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南9丁目5-20 (電話) (082) -843-4165		
自己評価作成日	平成30年6月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100850-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年7月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりを大切にしています。本人様のできる事・したい事を継続できるよう『役割作り』に取り組んでいます。入居者様同士もお互いできないところを助け合いながら生活しています。今年度より入居者様一人ひとりのメモリアルブックを作成し、生活歴を入居者様・家族様と一緒に聞き取ることでケアに活かす取組みを行っていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域交流は、地域包括支援センターと連携し、毎週水曜日に「いきいき体操」を事業所で実施し、10名以上の地域の方の参加がある。また、月1回看護職員による健康教室の開催や、近隣の高校生と、事業所の行事と一緒に計画をする等活発に地域とのつながりを図っている。入居者のメモリアルブックの作成や生活歴等から、強みを活かし、趣味活動や生活リハビリにつなげるなどの取組みを行い、生き生きとした生活が送れるように環境を整えている。法人全体での研修や資格取得の推進、補助などもあり、職員の資質向上への体制もとれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。</p>	<p>朝礼時に経営理念、地域密着型サービス事業所での理念の唱和、ミーティングを行ない、職員への周知徹底を図り、入居者の関わり、対応につなげている。また、事業計画、個人目標等上半期、下半期での振り返りを行いながら、実施している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>地域交流行事やボランティア来園時には、地域の方にもお声をかけ参加を促している。日常的な交流では、散歩時や毎週水曜日に開催している『健康体操教室』で、地域の方が来られた際に一緒になって体操を行っている。</p>	<p>そうめん流し、もちつき会、ビアガーデン等事業所の行事に地域の参加がある。また、職員がアイデアを出し、和太鼓、神楽、スコップ三味線等ボランティアに来ていただくなど、積極的に地域とのつながりが持てるようにしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域交流室を開放した催し物に地域の方、利用者様も参加し、交流を図っている。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、地域連携委員（施設内の職員）に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。</p>	<p>併設の小規模多機能センターと合同で開催している。家族、自治会長、老人クラブ会長、地域包括支援センター職員等の参加がある。事業所の活動報告、地域の行事予定等を聞くなどして、意見交換をし、サービスの質の向上に努めている。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。</p>	<p>日頃から運営、制度上の事を介護保険課に聞いたり、地域包括支援センター職員と連携を図り「生き生き体操」を行ったり、社会福祉協議会に出向き、ボランティアの紹介を受ける等、各関係機関と協力関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修等も行い拘束を行っていない。3ヶ月に1回の拘束委員会の実施と、情報発信を行っている</p> <p>防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。</p>	<p>定期的な研修の開催や日頃のケアの場面を振り返り、身体拘束に該当しないか、職員で意見交換、声掛けを行いながら、周知徹底を図っている。そのため、身体拘束を行った事例は今までない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修等で虐待やグレーゾーンについて学び、職員間でも機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、管理者と計画作成担当者が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い、運営に反映できるように心がけている。</p>	<p>家族と密に連携をとり、意見、要望を伺っている。入居者には日頃の生活の中から、その都度聞いており、買い物、外出支援などにつなげている。</p>	<p>家族参加のカフェの予定があり、今後定期的開催し、利用者、家族との交流とともに、意見、要望を聞く場になればと期待する。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや個人面談等を活用し、職員の意見を運営に反映できるように努めている。又、会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。	フロア会議等で職員の意見を聞き、グループ内での「SECI循環促進委員会」にて話し合い、運営、サービスの質の向上を図っている。職員からの意見で、事業所への様々なボランティア参加や健康相談の開催などが実現している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の取組みや、実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り、職員に声掛けを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安佐北区のケアマネ会に計画作成担当者が参加し、勉強や他ケアマネとの交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時より本人様にしっかり生活歴や要望を聞き、本人様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わりを持たせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも、積極的に関わりを持ち、関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け、必要なサービスをケアマネが検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒に行ったりしている。入居者様同士、助け合いながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に本人様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人様や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている方もいるが、全利用者様に対してというところではできていない状況である。</p>	<p>本人、家族から情報収集、要望により、墓参り、プラネタリウム鑑賞等馴染みの場所への個別外出を行った事例がある。また、家族の協力により自宅への外出、外泊も行っている入居者もおり、継続した関係が保たれるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じて、お互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も、ケアマネにその後の状況の確認をしたり、同法人内に転居されている方には、実際に様子を見に行く。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。	入居者一人ひとりの希望、意向を踏まえ、生活リハビリとしてモップ掛け、おしぼり配りや趣味、特技を活かしてピアノや野菜づくり等を行っている。また、買い物や外食に出掛けたりする等、入居者の思いを日々実現させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組んでいこうとしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアマネや担当者を中心にその都度話し合いを行っているが、話し合いの機会が遅くなったりしている時もある。</p>	<p>入居者の担当職員、ケアマネジャーと話し合いや、会議前には家族に連絡し、意向の確認を行い、介護計画を作成している。サービス内容は、生活リハビリ、趣味活動、日常生活動作など本人ができること、行えることが盛り込まれており、それをもとに実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、本人様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>諸木の公民館は活用できているが、まだまだ社会資源の把握まではできていない。散歩や体操教室に参加し、近隣の方や地域を知るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人様、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い、必要であれば付き添いを行っている。</p>	<p>本人、家族の意向を尊重し、希望のかかりつけ医に受診している。受診は基本的に家族に送迎、付き添いをしてもらっているが、難しい場合は事業所職員が行っている。家族が病院に付き添うため、病状の把握ができ、連携がとりやすくなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っているが、事が起きてからの話し合いになっている。まだ終末期、看取りの事例はない。</p>	<p>入居時家族に重度化した場合の対応・指針を説明し、同意を頂いている。現段階では看取りの事例はないが、実施する方針である。職員には研修等で看取りについて周知している。また、週1回健康管理に訪問看護師が来られ、看取り時は支援できる体制がとられている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の消防訓練（日中・夜間）地域の協力体制は、運営推進会議を通じて行っているが、まだまだ不十分である。</p>	<p>消防訓練は自治会長、民生委員、近隣の人も10名以上参加し行った。災害時は事業所、地域お互いに協力を行う方向で話をしている。職員も避難方法について周知しており、今後地震を想定した訓練も行う予定。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。	管理者、リーダーを中心に職員に対して言葉遣いや、部屋のドアを閉める、記録物を目につくところへ置かない等、気を付けるようにしている。また、職員がお互いに声を掛け合い注意しており、職員間で意識を高めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、職員側の都合になっている部分もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけでなく、好みやリクエストについては、皆で一緒に作る機会を設けている。	ごはん、みそ汁は手作りで、入居者が食事をよそったり、食材を入れたり、できる範囲で手伝いを行っている。また、食材を購入するために買物に行ったり、事業所前の畑で野菜を育てたりしている。たこ焼き、ホットケーキづくり等も入居者と一緒に実施し、楽しみなものになるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え、意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき、歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところから始まり、トイレで出来るように声掛けを行っている。</p>	<p>日中はなるべくトイレでの排泄を行っており、立ち座り、ズボンの上げ下ろし等、入居者が自分でできる部分は行って頂くよう支援している。排泄表を毎日記入し、入居者のパターンを知り、時間を決めての誘導をすることで、オムツ外しにもつながっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁画貼り、嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>	<p>通常は週2回の入浴であるが、希望があれば回数が増えることもあり、柔軟に対応している。入浴時間は午前から19時頃まで入ることができる。浴室は「ひまわり」、「鳥居」などの壁面をラミネートし飾り、入浴を楽しめるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状況に 応じて休んでいただいている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、薬の セットや配薬や内服の確認をダ ブルチェックで行っている。臨 時薬や薬の変更時には記録に残 し、症状の変化に気を付けてい る。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流 を行っているが、全員行えてい るかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	日常的な散歩や買物、ゴミだし 等の季節的な外出の機会を設 けている。家族様にも協力して 頂き、本人様の行きたいとこ ろに行けるように支援してい る。	季節の行事でチューリップ、桜、 紅葉等を見に出掛けたり、買 い物、食事などで外出をして いる。買い物で個別に出るこ ともある。家族の協力により、 自宅等への外出、外泊もあり、 入居者にできるだけ出掛けて 頂くよう支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	少ない額ではあるが、本人様の 気持ちに応え、現金を持っている 方もおられる。又、立替とい う形で、本人様が好きなもの が買えるように支援を行って いる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にになって行っている。生活感や清潔感が保てるように、常に意識し配慮している。</p>	<p>リビングに、大きい窓があり明るく、眺めも良く、山、川等が見え季節を感じることができる。地域の人がひまわりを事業所の窓から見えやすい所に植えて頂いており、入居者から喜ばれている。共有空間の掃除は行き届いており清潔感があり、ソファもあり、ゆったりとくつろげるようになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し、一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように、職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き、居室の配置もなるべく自宅に近づける様に工夫している。</p>	<p>自宅で使用していた馴染みの物や、入居者が家族と一緒にテレビやタンスなどを買いに行き、居室に置いている例もあり、居心地良く過ごせる環境を整えている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(こぼれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(ひだまり) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家 落合南

作成日 30.10.5

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等の意見の反映	家族参加のカフェの予定があり、今後定期的に開催し、利用者、家族との交流とともに、意見や要望を聞く場を作りたい	・家族会の実施 ・家族懇談会の実施	31年3月末
2	20	馴染みも人や場との関係継続の支援	メモリアルブックの定着	・メモリアルブック担当を設け定期的に進捗確認を行う	随時
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。